

第 71 回 愛知県高等学校総合体育大会 柔道競技
兼 第 66 回 全国高等学校柔道大会 県予選
兼 第 64 回 東海高等学校総合体育大会 柔道競技 県予選

実 施 要 項

- 1 主催 愛知県高等学校体育連盟
- 2 共催 愛知県教育委員会
- 3 後援 愛知県体育協会 愛知県柔道連盟
- 4 期日 平成 29 年 5 月 13 日(土) 10:00～ 男子団体・女子個人
平成 29 年 5 月 27 日(土) 10:00～ 女子団体・男子個人
- 5 会場 愛知県武道館 第一競技場 名古屋市港区丸池町 1-1-4(TEL 052-654-8541)
- 6 参加費 個人戦、団体戦ともに 1 名 700 円(試合当日の受付で支払うこと)
※ 個人戦、団体戦の両方に出場する場合は両方とも参加費を支払うこと
- 7 申し込み先・期日
 - (1) 男子団体、女子団体
それぞれ 1 部ずつ所定の申し込み用紙(愛知県高等学校体育連盟のホームページの用紙)で各支部長に申し込むこと。
※ 団体戦の申込は書類を郵送して申し込むこと。メールでの申込は不要です。

| | | |
|-----|---------------|-----------|
| 名 北 | 杉原大一郎(名古屋西高校) | 4/18 締め切り |
| 名 南 | 松下泰夫(名城大附属高校) | 4/18 締め切り |
| 尾 張 | 石田輝也(大成高校) | 4/18 締め切り |
| 知 多 | 伊東朝樹(半田高校) | 4/25 締め切り |
| 西三河 | 竹市慈俊(愛産大三河高校) | 4/21 締め切り |
| 東三河 | 牧野利則(桜丘高校) | 4/21 締め切り |
 - (2) 男子個人・女子個人
 - ① 申込み方法
愛知県高体連のホームページに掲載してある所定の申込み用エクセルファイルに必要事項を入力する。このファイルを各支部長にメールで申込みをする。また、このファイルを印刷したものに学校印を押したものを同様に支部長まで郵送すること。
 - ② 申込み締め切り日
4/28(金) 必着(メール、郵送ともに)
※団体戦と個人戦の申し込み締め切りが異なりますので注意してください。
- 8 参加資格
 - (1) 学校教育法第 1 条に規定する高等学校(中等教育学校後期課程を含む)に在籍する生徒。
上記以外の学校の参加については、愛知県高等学校総合体育大会の参加資格に準ずる。
 - (2) 愛知県高等学校体育連盟加盟校の生徒であり、全日本柔道連盟の競技者登録をしている者。
 - (3) 学校長の出場許可のある者。(健康診断実施のこと)
 - (4) 平成 10 年 4 月 2 日以降に生まれた者、ただし、同一学年の出場は 1 回限りとする。
 - (5) チーム編成において、全日制・定時制・通信制課程の生徒による混合は認めない。
 - (6) 外国人留学生については、愛知県高等学校総合体育大会の参加資格に準ずる。
 - (7) 転校後の参加については、転校後 6 ヶ月を経過していること。ただし、一家転住等の理由によりやむを得ない場合は、高体連柔道部長の許可があれば、この限りではない。

9 団体戦

(1) チーム編成

- ① 男子団体のチームは監督1名、選手5名、補欠1名の計7名を持って編成し、1校1チームとする。ただし、選手3名以上で参加可能とする。
- ② 女子団体のチームは監督1名、選手3名、補欠1名の計5名を持って編成し、1校1チームとする。ただし、選手2名以上で参加可能とする。
- ③ 選手の入替は選手変更届(校長印の捺印してある所定の変更届用紙)で1名のみ入れ替えができる。9:00～9:40までに選手変更受付に提出すること。ただし、必ず補欠を優先的に充当すること。

(2) 試合方法

- ① 男子団体戦は各支部予選を勝ち抜いた36校による学校対抗の点取りトーナメント戦とする。
- ② 女子団体戦は各支部予選に参加した学校による学校対抗の点取りトーナメント戦とする。ただし、支部予選にエントリーしていたが、やむをえない事情で支部予選を欠場した場合でも県大会には参加できる。
- ③ 選手配列は固定とする。
- ④ 補欠との入れ替えは、試合開始前までに会場係に申し出ること。ただし、一度補欠を入れた場合、再度入れ替えることはできない。

(3) 試合規定

- ① **試合は国際柔道連盟試合審判規定(新規定)によって行う。**
- ② 試合時間は3分とする。ただし、決勝戦のみ4分とする。
- ③ 判定基準は、「技有」または「僅差」以上とする。
※「僅差」とは技によるスコアが無い場合、または同等の場合に、「指導」差が2以上ある場合を僅差による優勢勝ちとする。「指導」の差が1であれば、引き分けとする。
- ④ チームの勝敗の決定は以下の順で決める
 - (ア) 勝ち数の多いチームを勝ちとする。
 - (イ) 勝ち数が同等の場合、「一本勝ち」が多いチームを勝ちとする。
※「一本勝ち」と「反則勝ち」は同等とする。
 - (ウ) 「一本勝ち」の数が同等の場合、「技有勝ち」が多いチームを勝ちとする。
 - (エ) 「技有勝ち」の数が同等の場合、代表戦を行う。代表戦は、その対戦に出場した選手の中から任意に選出して行う。
代表戦の判定基準も「技有」または「僅差」以上とする。技によるスコアが同等で指導差2が無い場合は時間無制限のゴールデンスコアを適用する。ゴールデンスコアでは、最初に技によるスコアを得た選手が勝者となる。または、「指導」の数が多くなった選手が敗者となる。

10 体重別個人戦

(1) 出場枠

① 男子

各学校各階級2名までとする。ただし、以下のように1名追加枠を設ける。

- (ア) 平成28年度愛知県高校新人柔道大会体重別個人戦において、60kg級、66kg級、73kg級、81kg級においてベスト4以上に残った選手がいる学校には、その学校のその階級に1名追加することができる。
- (イ) 平成28年度愛知県高校新人柔道大会体重別個人戦において無差別でベスト8以上に残った選手がいる学校には、その学校の90kg級、100kg級、100kg超級の中の任意の階級に1名追加することができる。

※ 上記の(ア)、(イ)について同一階級に複数の入賞者がいる場合でも追加枠は1名までである(最大で3名まで)。無差別においては複数の入賞者がいる場合、複数の階級に1名追加することはできるが、同一階級で2名以上の追加はできない。

(例1) 新人大会無差別で2名がベスト8以上に残った場合

90kg級に2名追加する → 不可

90kg級に1名追加、100kg級に1名追加 → 可能

(例2) 新人大会無差別で3名がベスト8以上に残った場合

90kg級、100kg級、100kg超級にそれぞれ1名ずつ追加が可能

- ② 女子 参加人数制限なし

- (2) 体重区分
- | | | | | | | | |
|------|------|------|------|------|------|-------|--------|
| ① 男子 | 60kg | 66kg | 73kg | 81kg | 90kg | 100kg | +100kg |
| ② 女子 | 48kg | 52kg | 57kg | 63kg | 70kg | 78kg | +78kg |
- (3) 計量
- ① 9:00～9:40 の間に行う。時間内なら何度でも計量できる。
- ② 計量を行わなかった選手および計量をパスしなかった選手は失格となる。
- (4) 試合方法
- ① 体重別(7階級)の個人試合とする。
- ② 試合はトーナメント戦とする。
- (5) 試合規定
- ① 試合は国際柔道連盟試合審判規定(新规定)によって行う。
- ② 勝敗の決定は以下の通りを行う。
技によるポイントのみがスコアとなり、最後にスコアが上の方が勝ちとなる。技のスコアが同等の場合は、準々決勝まで及び 3 位決定戦では指導の少ない方が勝者となる。指導差も無い場合は旗判定により勝敗を決する(旧ルールと同様)。準決勝および決勝は、技のスコアが同等の場合は時間無制限のゴールデンスコアを適用する。ゴールデンスコアでは、最初に技によるスコアを得た選手が勝者となる。または、「指導」の数が多くなった選手が敗者となる。
- ③ 試合時間は 3 分とする。

11 その他

- (1) 男女団体戦の優勝校および男女個人戦の優勝者は全国大会への出場権を得る。
- (2) 男女団体戦のベスト4の学校および男女個人戦の優勝、準優勝の選手は東海大会への出場権を得る。
- (3) 男子体重別個人戦は国体少年の部の愛知県一次予選を兼ねるため、各階級上位 4 名は最終選考会に出場する権利を得る。
- (4) 大会参加に際しては、監督あるいは顧問(引率教諭)の付き添いを要する。
- (5) 申し込みならびに計量等で不正が生じた場合、チーム全体の出場を認めない等のペナルティーを科す。
- (6) 審判については団体戦、個人戦ともに従来通りの 4 審制(主審 1 名、副審 2 名、 Jury 1 名)で全て実施する。(ケアシステム等は使用しない)
- (7) 柔道着に関しては、新规定の柔道着を必ず着用すること(ただし、帯は含まない)。新规定の柔道着でない場合は「失格」となる。また、ゼッケンを背部に必ず付けること。テープで貼ってあるだけのものや、マジックペンで直接柔道着に記入してあるようなものは不可であり、失格となる。